



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリオ横浜弘明寺グレイステラス	階数	地上7F、地下0F
建設地	神奈川県横浜市南区永田南1丁目1953番2	構造	RC造
用途地域	防火地域、準防火地域、第1種住居地域、近隣商業地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年8月9日
敷地面積	2,348 m ²	作成者	株式会社エフティー建築設計事務所 今給黎
建築面積	1,117 m ²	確認日	2021年8月10日
延床面積	5,975 m ²	確認者	株式会社エフティー建築設計事務所 今給黎

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★☆☆☆☆

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)
 ②建築物の取組み: 83% (46 kg-CO₂/年・m²)
 ③上記+②以外の: 83%
 ④上記+: 83%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.7
 Q2 サービス性能: 3.3
 Q3 室外環境(敷地内): 2.7
 LR1 エネルギー: 3.4
 LR2 資源・マテリアル: 3.0
 LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.7)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.3)

Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 2.7)

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.4)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.0)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)

3 設計上の配慮事項		
総合	"安心感、やすらぎ、居心地よさ、はなやかさ、賑わい、水面に写る季節感"を演出し、「弘明寺」という街にふさわしい品格ある建物となるよう設計している	
その他		
Q1 室内環境	断熱等性能等級4取得予定 F☆☆☆☆の建材を採用	Q2 サービス性能 劣化対策等級3取得予定
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内を適切に緑化している	
LR1 エネルギー	断熱等性能等級4取得予定	LR2 資源・マテリアル LGST地の採用 ノンフロン断熱材の採用
LR3 敷地外環境	光害対策ガイドラインの過半を満たす	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。 建物名称 **クリオ横浜弘明寺グレイステラス**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **5** %削減

	一次エネルギー消費量基準	適合
	外皮基準	適合

0 ▲ ▲ ▲ 100

誘導基準 (10%削減)

受付日 2021年8月12日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4

③BEI=0.95

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材を採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰光ケーブル、メダルケーブルにより通信手段の多様化を図る等

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 クリオ横浜弘明寺グレイステラス

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 屋光利用										
3.2 グレア対策										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
4.2 換気										
4.3 運用管理										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1.2 心理性・快適性										
1.3 維持管理										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
2.2 部品・部材の耐用年数										
2.4 信頼性										
3 対応性・更新性										
3.1 空間のゆとり										
3.2 荷重のゆとり										
3.3 設備の更新性										

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 3-058



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 クリオ横浜弘明寺グレイステラス

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
									3	電気配線の更新性
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	2.7	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	-	3.0	
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	3.0	0.50	-	-	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.5	0.50	-	-	-	3.5	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	-	-	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	-	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.0	
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	-	3.0	
	1.1	節水		3.0	0.40	-	-	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	-	3.0	
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	-	3.3	
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-	-	
		1	消火剤	-	-	-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)	4.0	0.50	-	-	-	-	
		3	冷媒	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	-	3.6	
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	3.0	
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	-	3.2	
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-	-	
		1	騒音	3.0	1.00	-	-	-	-	
		2	振動	-	-	-	-	-	-	
		3	悪臭	-	-	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-	-	
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-	-	
		2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	-	-	
		3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	-	-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	-	-	
		2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
	知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑧知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	
<住宅用途>										
健康と安心										
	1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	5.0	-	-	-	-	
	2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
	3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	4.0	-	-	-	-	